

糖尿病と歯周病との関連を考える

～ 歯科治療に役に立つ血糖コントロールの知識 ～

【講師】 園木 一男 先生 九州歯科大学内科学講座 助教

【日時】 4月23日(木) 午後7時50分～

【会場】 小倉歯科医師会館 2Fホール

北九州市小倉北区大手町11-6 TEL093-581-0550

【参加費】 会員無料

【ごあいさつ】

直近の厚生省発表では、糖尿病を持つ成人は、予備軍を含め約2210万人で、2006年時より340万人増加し、成人の約2割に上っているとのことです。これは、今後歯科治療に来る成人患者の5人に1人が糖尿病を持つこととなります。しかしながら予備軍から合併症の進んだ糖尿病まで個々の患者で非常に差があり、全身状態は一様ではありません。

一方、糖尿病患者の歯周病罹患率、重症度は糖尿病のない患者より悪く、歯周病は糖尿病の第6番目の合併症とされています。本講演では、糖尿病の診断、治療を簡単に説明して糖尿病治療の基本を掴んでもらい、それを踏まえて当院の症例を紹介しながら、歯科治療に役に立つ血糖コントロールなどのポイントを解説します。また我々の研究成果を含めた歯周病と糖尿病の関係についても若干紹介します。本講演が、糖尿病患者の歯科治療の参考になれば幸いです。

(園木一男)

【ご略歴】

昭和33年	(1958年)8月14日生
平成6年	九州大学医学部卒
平成6年	九州大学医学部附属病院医員(研修医)
平成7年	済生会八幡総合病院内科研修医
平成8年	新日鐵八幡製鐵所病院内科
平成9年	九州大学医学部健康科学センター研究生
平成10年	九州大学医学部第二内科研修生
平成11年	九州歯科大学内科、現在に至る。医学博士

所属学会：日本内科学会（日本内科学会認定医）、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本動脈硬化学会、日本歯科医学教育学会。

研究課題「糖尿病患者における動脈硬化促進機序の分子生物学的解析」、「歯周病、残存歯数などの口腔内状況と動脈硬化を含めた全身状態との関係の検討」など。